

令和5年2月18日開催電子回覧板モデル事業報告会における質問・回答

Q1 一つのIDごとに1000円/年の費用は高すぎる。費用対効果の部分をもっと知りたい。

A1 費用については、各自治会の世帯数や、さいたま市全体での利用世帯(ID)数によって利用単価が変動します。利用世帯数(導入自治会数)が多いほど、費用負担を抑えられます。

【導入費用額例】※自治会の利用世帯が300世帯で、市全体の利用世帯が20,010IDの場合
月額料金=1,100円+(11円×300世帯)=4,400円①

年額料金=4,400円①×12か月=52,800円

※詳細は以下の資料を参照してください。

地域組織版料金表は[こちら](#)

Q2 費用の問題が解決できれば是非とも導入したい。石川県では費用の問題をどの様に解決したか知りたい。

A2 石川県金沢市では、結ネット運用にかかる費用の3/4を上限とした補助金の制度があります。さいたま市においても本格導入に向け、導入自治会の負担軽減を図るため補助制度を検討しています。

Q3 さいたま市は結ネットの運営会社と業務委託契約を結んで導入したと説明があったが、自治会が導入する際の自治会・さいたま市・運営会社との契約関係はどうなるのか。

A3 今後、本格導入となった場合の契約関係については、さいたま市と運営会社(以降委託業者と表記)との契約と各自治会と委託業者との契約がそれぞれ発生します。さいたま市と委託業者との契約は、「自治体・地域団体版」の料金形態となり、利用ID数は結ネットの利用自治会数となります。各自治会と委託業者との契約は、「地域組織版」の料金形態となり、利用ID数は自治会における結ネットの利用世帯数となります。(利用単価は市全体の結ネット利用世帯数の合算世帯数で変動します)

※詳細は以下の資料を参照してください。

自治体・地域団体版料金表は[こちら](#)

地域組織版料金表は[こちら](#)

Q4 モデル自治会では、結ネットにログインするIDと自治会加入者の管理をどうやっていたか教えてほしい。

A4 ログインIDと自治会加入者の管理については、自治会員名簿により管理しています。個人情報などを扱う場合のある役職者については、管理者から役職者に役員名簿よりIDを発行して管理をしています。ただし、班長および一般の会員の方については、閲覧のみとしていますので、普及を第一目的として、「班名」「班長・一般会員の区別」「氏名」の自己申告のみによる管理として厳密な管理を行っていません。むしろ、未加入の方こそ、これを利用させていただき「自治会に入ると何か良いことがありそうだ」と思ってくれるような加入率向上のツールに活用できないか?とも考えています。たとえば、入会希望者が見られるお試しページなども考えられます。

まだありませんが「入会希望者」というID区分もすでに用意しています。利用料金がかからないモデル事業期間中を利用して、自治会加入・未加入者間の分断を生むことの無い、加入促進ツールへの可能性も模索していければと思います。

Q 5 モデル自治会では、結ネットにログインしたIDが確かに自治会加入者であることの確認をどうやっていたか、自治会退会者のログインID失効をどうやっていたか、それぞれ教えてほしい。

A 5 ログインしたIDが自治会加入者であることの確認は、自治会員名簿に記載された氏名との突合で行っています。また、結ネットID登録では組織名(〇班等)、役職名(会長、役員、防災担当、一般等)の記載が必要なことから、役職等の情報も併せて照らし合わせて確認しています。

自治会退会者については現在事例がありませんが、結ネットの利用者情報の一覧から登録しているIDを削除することになります。将来的にモデル事業が終了して厳格なID管理が必要となった場合には、年に一度の会員更新時等に新しい会員名簿との突合せにより管理することになると思います。

ただし、結ネットには世帯内利用者という仕組みがありますが、世帯内利用者の管理までは自治会で行えませんが、自己申告していただくことになると思います。いずれにしても、結ネット管理者が個人情報に関して過大な責任を負うことの無いような仕組み作りも必要であると考えています。

Q 6 本システムはクラウド上に構築されていると思われるが、AWSやAzure等のクラウド基盤上に構築されているものなのか否か、本システムやそのデータが日本国内のサーバに保管されているのか否か確認したい(海外のサーバの場合はその国名も知りたい。理由は、格納する情報に個人情報が含まれると、個人情報保護法上確認を要する事項が出てくるため)。

A 6 結ネットは ISMAP 認定(政府情報システムのためのセキュリティ評価制度)Oracle クラウドサーバーを利用しており、サーバは国内の東日本、西日本に各1か所あります。

※詳細は以下の資料を参照してください。

詳細は[こちら](#)

Q 7 個人情報保護が必要というのは理解できるが、個人情報(例えば顔写真、役員会の議事録、発信者の氏名等)はシステム内に格納されることになるので、完全に個人情報を考えなくても運用できるというのは誤りで、個人情報が格納される前提でどのように安全性を担保するのかを考えるべきではないか(個人情報がない状態での利用はありえない)。

A 7 結ネットのシステム自体のセキュリティ対策、個人情報保護対策について対応しています。

※詳細はQ7に添付した資料を御確認ください。

Q 8 自治会主催行事（総会、運動会、敬老会など）の出欠確認（個人別）はどのように集計、確認できるのか？ 安否情報や行方不明者を GPS で（個人別）はどのように確認できるのか？

A 8 回答一覧表示、棒グラフ表示、CSV 出力表示できます。



所属	種別	氏名	回答	連絡事項
1班	世帯代表	システム サポート	参加	よろしくお願いたします
1班	世帯代表	石川 太郎	未回答	
1班	世帯代表	田中 二郎	未読	
1班	世帯代表	山本 浩一	未読	
1班	世帯代表	鈴木 秀吉	未読	
1班	世帯代表	渡辺 治	未読	
1班	世帯代表	佐藤 博文	未読	
1班	世帯代表	金沢 太郎	未読	
1班	世帯代表	能登 次郎	未読	
2班	世帯代表	加賀 三郎	未読	
3班	世帯代表	石川 浩	未回答	
3班	世帯代表	能登 大介	未読	

災害モード切替時の安否返信で位置情報の添付が可能です。

※スマホの結ネットアプリ設定で位置情報の許可を「この App の使用中」「常に」となっていれば添付されます。



Q 9 さいたま市では結ネットをトライアルの対象として選定したわけだが、このシステムの選定理由を説明して欲しかった。他にも類似のシステムはいろいろあり、自治会だけでも 800 以上ある市なので、複数のシステムをトライアルするのも可能ではなかったか。

A 9 すでに石川県などの北陸地方で広く導入が進んでおり、石川県野々市市の自治会連合会が2年間実証実験を行い、自治会活動に特化したアプリとして商品化されたものであることから、モデル事業として導入することとしました。他に類似のシステムがあることは承知しておりますが、高齢化によりICTに苦手意識を持つ役員の皆様に、まずは多くの自治会で導入実績がある結ネットを試していただくことで自治会のICT化が進むものと考えたことから検討したものです。